

技術、広報の2部会設置

より活動的に

県コンクリート診断士会が総会

新潟県コンクリート診断士会(会長・地濃茂雄新潟工科大学大学院教授)は7日、新潟市の「ほんぽーと新潟市立中央図書館」で今年度通常総会を開き、新たに技術、広報の2部会を設置し、より活発な活動を展開していくことを申し合わせた。写真。



総会には会員約70人が出席。あいさつに立った地濃会長は「生命、生計を守り、地域社会を継続するためにコンクリートは社会生活と切り離せない。われわれの使命は大きいものがある。会員にとってプラスに

なるような会として一体となり活動し、情報交換できる場としたい。技術部会で技術を磨き、広報部会を通じて会員を増やしていこう」と呼びかけた。

今年度事業計画では、コンクリート構造物の診断技術に関するセミナーや実務発表会の開催、H

Pの改編充実を盛り込んだ。総会ではこのほか、国道8号の塩害状況などが報告された。

また、長岡技術科学大学の丸山久一教授が東日本大震災の被災状況について講演した。

その後、懇親会も開かれ、会員同士親睦を深め合った。